



ルールは、必要であり、守るべきもの ～中学校の「校則の見直し」から考える～

校 長 二ツ森 孝 史

中学校では、今年度、大きな取組がありました。それは、「校則の見直し」です。校則の見直しは、時代や社会の変化、生徒の実情に合っているかを検証し、必要に応じて変更するプロセスです。そのために、生徒の皆さんは、意見集約、話し合いを行い、それを受けて先生方も会議で検討し、夏休み明けからは見直された校則のもと、生活しています。

過去に、道徳の授業で「なぜ私たちはルールを守らなければならないのですか。」「ルールがなければどうなるのか考えたことがありますか。」と質問したことがあります。すると、当時の生徒は、「ルールがないと混乱する。不安になる。」と答えたように記憶しています。そこで、ルールを守ることが、どれほど自分と周りにプラスになるのかを、伝えたいと思います。

1 ルールを守ることによって、安定と信頼が生まれること。

例えば、行事での活動を考えてください。ルールを守らず、好き勝手な準備をすると、事故やケガにつながります。また、好き勝手にやれば、準備や練習の進行やチームの連携が上手いかなくなるのは当然の結果です。

2 ルールがないと、社会は成り立たないということ。

もし、この世の中にルールがなければ、どうなりますか。誰もが自分のやりたいように生きる世界をイメージしてください。きっと、社会全体が危険にさらされると思います。

3 ルールがあることで、公正・公平な社会になること。

例えば、テストでのカンニングです。カンニングをしないという、明確なルールがあるからこそ、結果に対する評価が公正であると感じることができます。ルールがなければ、誰かが特別扱いされるかもしれないし、逆に誰かがマイナス評価になる可能性も生じます。

4 ルールを守るとは、自己管理能力を磨くことにつながる。

例えば、遅刻をしない、授業中寝ない、夜遅くまでスマホをいじらないなどの自身の生活を管理するためのルールを守ること、自分をコントロールする能力を高めることができると思います。

5 ルールを破ることには、予測不能なリスクが伴うこと。

例えば、交通違反から事故を起こしてしまうと、自分や他人に大きな被害を与えてしまいます。ルールを守らないことで、これまでの安定した結果が台無しになるかもしれません。

ルールはただの制約ではなく「自由」を守るために必要なものだとは私は考えます。定められたルールの中で、これからの生活をより充実したものにしてほしいと思います。これくらい守らなくてもいいだろうが、学校生活を乱すことを忘れずに。

令和7年度泊中祭 「BIG BANG ～届け、僕らの青春ストーリー～」

今年の泊中祭テーマ「BIG BANG」は、宇宙が爆発し誕生したことを意味します。「泊中祭の主人公である泊中生がそれぞれの個性を爆発させ、観客に、そして未来の自分に感動を届けていこう」という思いが込められています。

当日は130名を超える方々にお越しいただき、合唱や演奏を披露するとともに、力作ぞろいの教科作品展示を楽しんでいただくことができました。御多用の折にもかかわらず御来校いただき、ありがとうございました。



【11月の予定】

- 3日（月）文化の日
- 4日（火）修学旅行セレモニー
- 5日（水）修学旅行（2年～11/7）部活動なし
実力テスト（3年）、原燃出前授業（1年）
学校集金引落予備日
- 6日（木）日本原燃施設見学（1年）
保護者進路説明会（3年）
- 9日（日）英語検定（二次）
- 12日（水）部活動なし
- 18日（火）村学力向上モデル校報告会
- 19日（水）5時間日課、委員会活動
- 20日（木）職員会議（5時間日課・部活動なし）
- 21日（金）中央委員会

- 23日（日）勤労感謝の日
- 24日（月）振替休日 部活動なし
- 25日（火）5時間日課・部活動なし 学校集金引落日
- 26日（水）公約集読み合わせ 部活動なし
- 27日（木）2学期期末テスト 部活動なし
- 28日（金）生徒朝会 食に関する教室
- 29日（土）青森県卓球選手権大会

※スクールカウンセラー来校日…14日、28日